

## 第2学年 生活科 学習指導案

松山市立日浦小学校 教諭 田辺 淳子

### 1 単元名 「もっとなかよし まちたんけん」(全6時間)

### 2 単元の目標

- 地域の人々に関わる活動を通して、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付く。(知識・技能)
- 地域の人々に関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付ける。(思考・判断・表現)
- 地域の人々に関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)

### 3 単元について

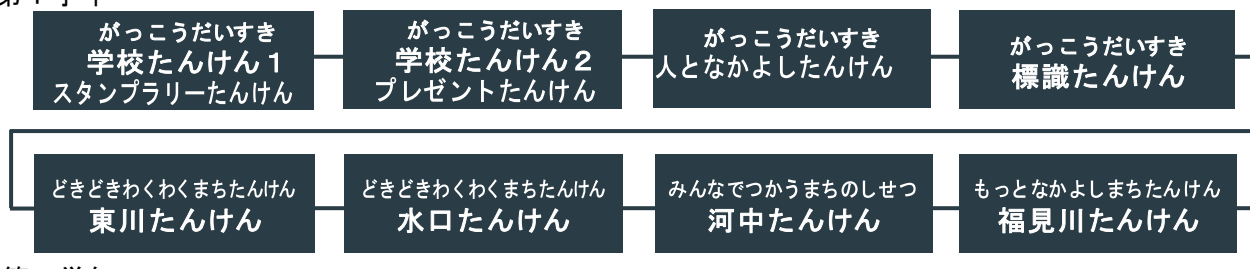
#### (1) 教材観

本校は、低学年における教育の柱に据えた生活科の年間指導計画の作成に当たって、カリキュラムの約半分を2学年が共に学習する「共通単元」としている(資料1)。そして、児童の実態や地域の特性、授業時数などを考慮し、「まちたんけん」に重点を置いて、学校独自に構成した単元や学習活動を配置している(資料2)。第1学年の1回限りの活動で終わるのではなく、第2学年でも、経験を生かし新たなめあてをもって繰り返し活動することとしている。

|            | 4月  | 5月                   | 6月                   | 7月                   | 8月                   | 9月                   | 10月                  | 11月                  | 12月                  | 1月                   | 2月                   | 3月                   |
|------------|---|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 第1学年(47時間) |   |                      |                      |                      |                      |                      |                      | ○たのしいあそびのしりとり<br>①上  | ○おもしろいあそびのしりとり<br>②上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>③上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>④上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑤上 |
| 共通(55時間)   | ○きれいな公園と①上 ○みんなでたのびのしりとり②下 ○おもしろいあそびのしりとり③上 |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |
| 第2学年(50時間) | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑥上                        | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑦上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑧上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑨上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑩上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑪上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑫上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑬上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑭上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑮上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑯上 | ○おもしろいあそびのしりとり<br>⑰上 |

〈資料1 生活科年間指導計画〉

#### 第1学年



#### 第2学年



〈資料2 「まちたんけん」に重点を置いた学習活動の配列〉

第1学年の町探検では、日浦で生活したり働いたりしている人々や様々な場所、豊かな自然のよさに気付いた。第2学年の1学期、さらに、探検を繰り返す中で、それらが自分たちの生活を支えたり、楽しくしたりしていることにも気付いた。本単元では、地域で関わった人の地域に寄せる思いに触れ、これからも地域の人々に関わろうとする態度を身に付けることができる。と考える。

## (2) 児童観

第2学年9名は、皆、通学区域の弾力化によって松山市全域から通っている。入学当初、日浦に馴染みのない児童がほとんどであった。しかし、町探検や自然観察、公民館イベントなどを通して、友達や教師、家族、地域の人々と一緒に活動することで、学校を取り巻く地域に目を向け始め、四季折々の風景や触感、匂い、音などを、豊かに心に刻んできた。児童の地域のよさへの気付きは、タウン誌の紹介情報のような平板で一般的なものではなく、その子ならではの経験や、その時に感じた豊かな感情や切なる思いを伴ったものである。生活科だけではなく、道徳科や国語科の学習の中で、それらを聞き合い、すり合わせることを通して、「地域のよさ」を多面的・多角的に考えられるようになってきている。

## (3) 指導観

生活科や学校行事などを通して、地域のよさに気付きつつある児童には、本単元を通して、地域の自然や文化財、歴史と関わった体験を想起させ、それらが、自分たちの生活を支えたり、楽しんだりしていることを自覚させ、地域への愛着を深めさせたい。

そのために、何となくぼんやりと「町についての多くのことを知りたいな」といった意識や構えではなく、どんなことを明らかにすべく、何を知りたいのかを明確にした上での町探検にしたい。これまでとは異なる意識や構え、方法で、改めて町を丁寧に眺め直してみる、関わり直してみることにより、町の見え方、町のイメージ、さらには自分と町の関係が大きく変わってくると考える。

授業では、体験が質の高い経験になるよう、振り返りの場面で体験を言語化させる。これによって、気付きが明確になり、児童の活動意欲に結び付く。また、教師にとっても言語化されているので、適切な評価をすることができる。体験から出発して気付きが生まれ、認識を高めていくといった学習過程を大切にしたい。

## (4) ESDとの関連

### ・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

#### 相互性

緑豊かな山林に囲まれた日浦は、昔から農林業が盛んに行われてきた。水源の森を守るために、住民たちは山林を手入れし、川の水を清涼に保つ努力を続けている。

### ・本学習で育てたいESDの資質・能力

#### 批判的に考える力（クリティカル・シンキング）

経済的な豊かさや物質的な豊かさを追い求める傾向にある。日浦の自然や人々との関わりを通し、自然を身近に感じながら心豊かに暮らすことの価値に気付く力を育てる。

#### つながりを尊重する態度

探検で出会った人々との関わりを通し、様々な人とのつながりが豊かな学びになっていることに気付く力を育てる。

### ・本学習で変容を促すESDの価値観

#### 自然環境や生態系の保全を重視すること

山地と集落の間に広がる日浦のような里山は、農地やため池、草原、人が管理する森林などで構成されている。様々な環境があることで多くの種類の生物が生存し、豊かな生物多様性を支える場

所になっている。このような里山の豊かな生態系は、人が利用目的に応じて、手を加えることで生まれ、維持されてきた。しかし、近年の人口減少や少子高齢化にともない、人が住まなくなった地域が増え、里山の生態系に変化が現れている。このまま、里山が管理されなくなると、豊かな生物多様性が失われてしまうと懸念されている。

水口町に住む松野さんも、農業を営みながら、増えすぎた植物や樹木を抜いたり切ったりすることで適度な数に減らしたり、生い茂った樹木の枝を切り落とすことで地面の日当たりをよくしたりしている。松野さんへのインタビューなどを通して、自然環境や生態系の保全に関する基礎的な知識を身に付けさせ、自分たちにもできることを考えさせたい。

#### 幸福な社会、人生を大切にすること

水口町に住む松野さんは、毎朝、自宅から1キロ離れたスクールバスのバス停まで歩き、児童生徒を迎えている。タマネギや大根などの野菜や花を育て、学校行事に合わせて届けたり、収穫体験に招いたりしている。学校行事の一つ「日浦駅伝」では、水口集会所前に風船アーチを設置し、BGMを流して地域の人々と共に応援している。自宅では、広大な庭に四季折々の花が楽しめる「ふれあい広場」を作り、ヤギやスズムシ、ホタルなどの飼育をしている。令和3年5月に、1・2年生の生活科「まちたんけん」で水口町を訪れたことをきっかけに、児童も教師も、松野さんの自然と共に生きる姿や、仕事とプライベートを一体化した遊び心のある生き方に惹きつけられ、繰り返し訪れて、交流を深めている。令和4年3月には、全校児童を招いて桜の植樹をし、その後も草刈やイノシシ対策など世話を続けている。同年7月の「まちたんけん」では、桜の植樹を記念して、水口町の人々と共に「桜の手形アート」を作成した。日浦の自然保護活動や交流活動など、地域の発展とまちづくりに尽力する松野さんから学ぶESDの価値観は多い。

#### ・達成が期待されるSDGs

目標 11 住み続けられるまちづくりを

目標 15 陸の豊かさも守ろう

#### 4 単元の評価規準

| ア 知識・技能   | イ 思考・判断・表現  | ウ 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|---|---|
| 地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域の様々な人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。                                | 地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けている。 | 地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。 |
| ① 探検で関わった地域の人々の、地域に寄せる思いに気付いている。<br>② 地域の人と接する際、相手や場に応じた挨拶や適切な言葉遣いをしている。<br>③ 地域には自分たちのくらしを豊かにしてくれる | ① 地域で関わった人の、地域に寄せる思いから共通点を見出し、地域の人々のよさについて話している。        | ① 地域で関わった人の、地域に寄せる思いに触れ、これからも地域の人々と関わろうとしている。             |

|                     |  |  |
|---------------------|--|--|
| 人々がたくさんいることに気付いている。 |  |  |
|---------------------|--|--|

## 5 単元の指導計画（全6時間）

| 次 | 主な学習活動  | 学習への支援（・）  | 評価(△)備考(・)          |
|---|---|--|---------------------|
| 1 | <p><b>まちの人に聞きに行こう</b></p> <p>相手や場所に合った挨拶や言葉遣いをして地域の人と関わる中で、地域の人々の地域に寄せる思いに気付くとともに、これからも地域の人々と関わろうとすることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習活動を踏まえてインタビューや探検の内容を検討し、準備をする。(1時間)</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人を学校に招待して、インタビューをする。(1時間)</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>福見川町探検に行く。(3時間)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>1学期の学習活動を想起する場を設け、児童が本単元の学習活動への見通しをもてるようにする。</li> <li>道徳科「あがれ、大だこ」、「この町がすき」(主題名「大好きな私の町」と)の関連を図り、地域の自然や文化財、歴史等が自分たちの生活を支えたり、楽しくしたりしていることを自覚させ、地域への愛着を深める。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>スムーズにインタビューが行えるように、招待する人に、事前に協力依頼と活動の趣旨説明をしたり、招待状に質問事項を書き添えたりしておく。</li> <li>活動時間を十分保障できるよう、探検のルールやマナーなどについて十分確認しておく。</li> </ul> | <p>△ア①②<br/>△ウ①</p> |
| 2 | <p><b>分かったことを話し合おう</b></p> <p>地域の人々が地域に寄せる思いの中から共通点を見出し、地域の人々のよさについて友達と話しながら、地域には自分たちのくらしを豊かにしてくれる人々がたくさんいることに気付くことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インタビューや探検で分かったことをまとめ、紹介し合う。(1時間)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「もっと調べたい」という児童の発言やつぶやきを全体で認め、次単元「つながる広がるわたしの生活」につなげる。</li> <li>国語科「町の『すてき』をつたえます」との関連を図り、町探検で見つけた町の「すてき」を報告書によって交流することで、町への関心をさらに高める。</li> </ul>    | <p>△ア③<br/>△イ①</p>  |

